

短い梅雨が終わり本格的な夏がやってきました。災害級の暑さの中日々お疲れ様です。そしてこれからは台風シーズンの到来です。台風による災害の備えについて考えていきたいと思います



【台風の対策】



台風情報はDiMCOCサイトでも公開しています。



スマホからはこちら↑

日本には毎年平均約12個の台風が接近し、平均約3個が上陸しています。夏の台風は「ノロノロ台風」と呼ばれるように進路が決まっていなかったり進行速度が遅かったりすることも特徴です。夏の台風は大雨や暴風が長期化しやすいこともあり、中には強い勢力のまま日本に近づくものもあるので注意が必要です。事前に接近や被害がある程度予測できる気象現象でもあるので、台風情報や避難情報に基づいて正しい行動をとることが大切です。

家庭で簡単にできる台風・大雨対策

①ハザードマップで危険箇所の確認

- ・浸水リスクや土砂災害リスクなど自宅や職場、学校、その場への道中どんな危険があるか事前に知っておきましょう

不要な外出を控え、危険な場所には近づかないようにしましょう



②排水溝や側溝の掃除



- ・側溝にはゴミが溜まりやすく放置すると台風や大雨の時に水が溢れて浸水被害につながることもあります

③窓に飛散防止フィルムを貼る

- ・ガラスが割れても飛散防止フィルムが貼ってあることで飛び散りや落下を防ぐことができます
- ・強風によって飛来物が窓にぶつかった時にもガラスの貫通を抑制する効果もあります



④屋外にあるものを家の中に入れる



- ・物干し竿や植木鉢、子供のおもちゃ、自転車、犬小屋など「大丈夫かな」と思うものでも強風で飛ばされます

⑤暑さ対策も忘れずに

- ・水や非常食だけでなく、モバイルバッテリーやポータブル電源、クーラーボックスや冷感アイテムなどの暑さ対策・熱中症対策も重要です



編集
後記

今回は台風による災害と備えについてお伝えしました。「万が一」に備えながら、楽しい夏を過ごしましょう。以上、今年の夏はいろんなかき氷を食べようと計画している編集者でした♡ (DiMCOC内線:3040)

